

静岡県文化プログラム 報告フォーラム2018

平成30年3月24日(土)

静岡県コンベンションアーツセンター『グランシップ』10階

1001-2会議室 [フォーラム]、1002会議室 [プログラム紹介展示・交流会]

主催：静岡県文化プログラム推進委員会、静岡県

ADVANCED
PROGRAM
FOR ARTS
AND CULTURE
SHIZUOKA
2017 >>> 2018

ADVANCED PROGRAM FOR ARTS AND CULTURE SHIZUOKA 2017 >>> 2018

静岡県文化プログラム 報告フォーラム2018

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて静岡県内で取り組まれている13件の文化プログラム（提案プログラム）の報告と“文化プログラムのこれから”を考えるフォーラムを開催します。

ひとつひとつのユニークなプログラムを担う人々の語りと、各地のプログラムの状況を俯瞰する人々の語りがあり、文化プログラムへの期待や、2020年以降に引き継ぐべきレガシーなどについて、改めて考え、意見を交わす機会です。

平成30年3月24日（土）

静岡県コンベンションアーツセンター

『グランシップ』（静岡市駿河区東静岡2-3-1）
JR東静岡駅南口、徒歩約5分）

10階

1001-2会議室 [フォーラム]

1002会議室 [プログラム紹介展示]

主催：静岡県文化プログラム推進委員会、静岡県

12:30

開 場

13:00

開 会

13:05~15:15

プログラムからの報告

13のプログラムの内容、実績等を、担い手の団体が報告します。

15:15~15:30

〈休憩〉

15:30~16:00

基調講演 [加藤種男]

16:00~17:30

トークセッション

「文化プログラムのこれからを考える」

ゲスト：加藤種男（クリエイティブ・ディレクター）

高島知佐子（静岡文化芸術大学文化政策学部准教授）

垂見和磨（共同通信社編集局経済・地域報道グループ次長）

モデレーター 太下義之（三菱UFリサーチ&コンサルティング主席研究員）

17:45~19:15

交流会 [参加費：4,000円程度] (1002会議室)



平成29年度 文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業



加藤種男（かとう・たねお）

クリエイティブ・ディレクター

企業、市民、行政のセクターを越えた社会創造のネットワークづくり取り組んできた。全国の市民主導のアート・プロジェクトをつなぐアサヒ・アートフェスティバル(AAF)やアートNPOフォーラムなど多様なプロジェクトの創設を牽引。横浜市芸術文化振興財団専務理事等を歴任し、創造都市横浜の基礎を築く。創造列島という視点から、地方都市、過疎地、離島を応援。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



高島知佐子（たかしま・ちさこ）

静岡文化芸術大学
文化政策学部芸術文化学科 准教授

専門は経営学・アートマネジメント。博士（文学）。（独）中小企業基盤整備機構で中小企業支援に携わり、大阪市立大学都市研究プラザ、京都外国語大学を経て現職。音楽や音楽、地域の民俗芸能など、伝統芸能の上演組織を中心に、芸術団体の長期的な活動について研究。2010年頃から医療・福祉領域における芸術活動の実践や調査にも関わり、浜松労災病院、静岡県立子ども病院と連携し活動を展開。



垂見和磨（たるみ・かずま）

共同通信社経済・地域報道グループ次長

1965(昭和40)年生まれ。岐阜県出身。社会部や特別報道室などを経て現職。政官財や医療界を長年取材。近年、介護や建設現場の人手不足取材を機に地域が抱える課題と対策の報道に取り組むようになる。全国自治体調査を定期に実施、地域づくりの多様な取り組みを紹介。東京五輪文化プログラムは2年にわたり調査した。主な著作に共著『東京地検特捜部』（講談社+α文庫）や『建設、介護『人手不足』絶望列島』（文藝春秋2014年12月号）など。



太下義之（おおした・よしゆき）

三菱UFリサーチ&コンサルティング主席研究員

専門は、文化政策、博士（芸術学）。（独）国立美術館理事、静岡県舞台芸術センター（SPAC）評議員、静岡県文化プログラム推進委員会副委員長、文化政策学会理事、政策分析ネットワーク共同副代表、文化審議会文化財分科会企画調査会WG副座長、観光庁「世界に誇れる広域観光周遊ルート検討委員会」委員、東京芸術文化評議会委員、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー、アーツカウンシル新潟アドバイザー、著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム発起人など、文化政策関連の委員を多数兼務。

お申込み方法

氏名・電話番号・住所・メールアドレス（お持ちの場合）・交流会（4,000円程度、当日集金）参加の有無、を記載の上、下記いずれかの方法でお申し込みください。☞静岡県文化プログラム「報告フォーラム2018 係」

E-mail: forum2018@shizuoka-ac.org FAX: 054-273-8183 往復はがき: 〒420-0035 静岡市葵区七間町5-8 ミライエ七間町2階

申込締切 3月22日(木) 必着 定員 先着120人

お問い合わせ 静岡県文化プログラム推進委員会 TEL: 054-273-8181 (9:00~18:00/平日のみ)



静岡県文化プログラム

オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけの祭典ではありません。オリンピック憲章では、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を追求するもの」とうたわれ、競技大会の組織委員会が「文化プログラム」を実施することが定められています。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた文化プログラムは、スポーツ競技が行われる地域だけでなく、日本全国で展開されることになっており、静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。